

平成 25 年第 1 回定例会 経済活性化特別委員会

平成 25 年 3 月 7 日

小野寺委員

私からは、かながわブランドアンテナショップ事業費が、平成 25 年度当初予算に計上されていますので、このことについて、幾つか伺いたいと思います。

まず、かながわブランドアンテナショップとは、どのようなものなのか、簡単に御説明願います。

かながわ農林水産ブランド戦略課長

加工品などの県産品を、より多くの方に知っていただき、購入していただくことを目的として、かなさんの畑という名前のインターネットサイトを、県とJAなどの生産者団体で構成される、かながわブランド振興協議会で運営しております。開設は平成 21 年 3 月 2 日でございます、今年で丸 4 年を迎えます。

また、県庁の近くに、実店舗のかながわ屋というアンテナショップがございますが、その代替となるよう、ユーザーとの双方向からの情報発信ができるブログ機能や、期間限定の県産品販売機能なども備えております。

小野寺委員

かなさんの畑という名前のインターネットサイトとのことですが、この名前を知っている人は、非常に少ないと思います。このサイトにたどり着くためには、パソコンにキーワードを打ち込んで、検索する必要がありますが、多くの人が、このかなさんの畑という名前を知らない中で、この名前を知らない人でも、このサイトに誘導するような仕掛けがあるのでしょうか。

かながわ農林水産ブランド戦略課長

かなさんの畑という名前を、ほとんどの人が知らないというのは、委員の御指摘のとおりであると思います。そこで、かなさんの畑で検索する以外にも、例えば、神奈川 地産地消や、神奈川 直売所などのキーワードで検索していただきますと、最初のページでヒットするようになっております。

その他にも、当課のホームページにリンクを貼って誘導したり、かなさんの畑自体をリンクフリーにして、積極的に外部サイトにリンクしてもらうようにしております。

また、今後は、県ホームページの、かながわの名産 100 選との相互リンクも考えております。

小野寺委員

かながわ 特産で検索してみましたが、それで出てくるのが、かながわの特産品という県のホームページでした。そこをクリックして出てくるのは、かながわの名産 100 選、かながわの伝統工芸品、かながわ産品のブランド化という項目ということで、なかなかたどり着けません。

そこで、かなさんの畑のアクセス数の動向についてお伺いします。

かながわ農林水産ブランド戦略課長

開設当初に、年間約 49 万件であったアクセス数は、2 年目、3 年目は、約 65 万件まで伸びました。さらに、4 年目の今年度は、4 月 1 日から翌年の 2 月 28 日まで、約 64 万件となっております、3 月中までには、70 万件くらいまで上がると思っております。

小野寺委員

答えにくい質問かもしれないのですが、その数値は、自己評価としてどう考えていますか。

かながわ農林水産ブランド戦略課長

個人的な見解ですが、私は民間企業におりましたので、民間の感覚で申しますと、伸びは緩やか、あるいは伸びないという感想ですが、県と J A で作っているページであり、クリックすると景品が当たるとか、現金がもらえるとか、そういうヒット数を上げる仕掛けができませんので、年 5 % の伸びということで、御容赦いただければと思います。

小野寺委員

そういう仕掛けができない中、ヒット数を増やすためには、良いコンテンツが必要であると思います。かなさんの畑の主なコンテンツは、どのようなものがあるのか、また、特にお勧めのコンテンツがあれば、教えてください。

かながわ農林水産ブランド戦略課長

特にお勧めのコンテンツは、県内の旬の逸品を購入することができる、旬の選りすぐり産品特集でございます。こちらでは、湘南ゴールドの注文を承っております、他には、レシピ集やインターネットで購入できる県内生産者の直売サイトとのリンク集である、かなさん商店街がお勧めであると考えております。

小野寺委員

ホームページがいろいろ混み合っていて編集上のメリハリがないように感じます。また、かながわブランドという言葉から、おいしいというイメージを持つ人がどれだけいるのか疑問なので、その辺のネーミングも考慮してはどうかと思います。

そして、かながわブランドサポート店のページは、売っている場所は書いてあるのですが、どんなものを食べさせてくれるのかが書いていないのですけれども、その点に関しては、どのようにお考えでしょうか。

かながわ農林水産ブランド戦略課長

委員の御指摘のとおり、かながわブランドサポート店に関する情報の充実は、今後の課題であると考えております。

サポート店には、販売店部門と飲食店部門がございまして、例えば、販売店部門では、どのような県産品が販売されているのか、飲食店部門では、どのような県産食材を利用したメニューがあるのかといった情報が分かるようにするということにつきましては、非常に手間のかかる作業であり、マンパワー的には不足している状況でございますが、そのまま放置しておいていいとも思っておりません。

今後、探している情報を、少ないクリックで見付けることができるサイトとす

るよう、今後も努力してまいりたいと考えております。

小野寺委員

我々消費者にとって、どこに行けば何が食べられるのかという情報は、非常に大切ですので、大変であるとは思いますが、御検討をお願いします。そして、このかなさんの畑が、より良いサイトとしていただきますよう要望しまして、私の質問を終わります。